

報 告 事 項

報告事項 1

令和 5 年度事業計画書及び収支予算書について

一般社団法人 日本木材輸出振興協会

令和 5 年度事業計画書

1. 輸出先国の規格・基準等に対応した性能検証等支援事業（令和 4 年度林野庁補正予算）

付加価値の高い木材製品の輸出拡大のため、輸出先国のニーズや規格・基準に対応した製品開発や性能試験・実証を行う取組（4 件程度）を選定し、支援を行う。

（1）検討委員会の開催

有識者、木材関連団体等からなる検討委員会を設置し、事業実施者の選定や結果取りまとめ等を行う。

（2）事業の進行管理・指導監督

輸出先国の規格・基準等に対応する製品開発や性能試験・実証に関する公募、審査、選定、実施者への助成等事業の進行管理・指導監督及び検査を行う。

（3）事業成果の普及

成果報告会の開催、報告書の作成・公表により事業成果を普及する。

2. 品目団体輸出力強化緊急支援事業（農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業、令和 4 年度農林水産省補正予算）（第 1 次募集分）

製材・合板にかかる認定農林水産物・食品促進団体として認定された当協会では、木材輸出拡大戦略に基づいて、我が国木材製品の認知度向上やマーケットインでの販売促進・販路開拓等について、積極的な取組を行う。

（1）海外等におけるジャパンブランドの確立

① ベトナムにおいて、ホーチミンシティに設置しているジャパンウッドステーション (JWS) を拠点とした総合的なプロモーション活動を行う。このため、展示会、商談会、セミナー等の事業の実施は、協会本部との有機的連携により行う。

② ウェブ媒体を活用した普及・広報等による日本産木材製品の輸出力強化を図る。このため、輸出重点国・地域である中国、米国、韓国、台湾

等向けの輸出促進ポータルサイトとするとともに、日本産木材製品プロモーション動画の制作、パンフレットの作成等を行う。

(2) 業界関係者共通の輸出に関する課題解決に向けた実証

米国への日本産樹種の構造材輸出強化事業として、米国の木材検査機関においてスギ・ヒノキ製材の性能を検証し、米国製材規格委員会で構造材としての許容特性値が認可されるための取組を行う。

(3) 新規輸出国開拓に向けた調査

インドの木材市場調査を行い、将来的に大きな木材需要の見込めるインドにおける木材情報を整備する。

3. 品目団体輸出力強化緊急支援事業（農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業、令和4年度農林水産省補正予算）

(1) 業界関係共通の輸出に関する課題解決に向けた実証等

- ・ 国内における「日本産木材製品輸出促進セミナー」の開催（3回）

(2) 海外等における販路開拓活動

- ・ 海外向け「日本木材製品利用促進セミナー」の開催（中国、韓国、台湾）
- ・ 海外現地における日本木材製品の販売・宣伝実証取組（中国）
- ・ マッチング商談会の開催（中国、韓国、台湾）

(3) 相手国ニーズへの対応に必要な業界統一規格等の策定・普及等

- ・ 国内における「日本産木材製品輸出促進セミナー」の開催（5回）

(4) 海外等における販路開拓活動

- ・ 製材輸出標準普及取組

- ① 国内における「日本産製材輸出標準普及講習会」の開催
- ② 海外における「日本産製材輸出標準普及講習会」の開催（中国、韓国、台湾）

- ・ 「日本製処理木材輸出標準」の制定及び普及取組

- ① 「日本製処理木材輸出標準制定検討委員会」の開催
- ② 国内における「日本製処理木材輸出標準普及講習会」の開催

③ 海外における「日本製処理木材輸出標準普及講習会」の開催

4. 品目団体輸出力強化支援事業（農林水産物・食品輸出促進対策事業、令和5年度農林水産省当初予算）

（1）海外等におけるジャパンプランドの確立

- ・ 製材・合板等を利用した材工一体型実証取組
 - ① 中国における「日本産木材製品利用実証モデルルーム」の構築と現地適性実証評価会の開催
 - ② 韓国における「製材・合板等を活用したオンドル対応高断熱型軸組構造実証モデル躯体」の構築と現地適性実証評価会の開催
- ・ 日本産木材製品利用モデル等を活用した見学体験会の開催（中国、韓国）
- ・ 多様な広報媒体を通じたブランディング（中国、韓国、台湾）
- ・ 「国産材製品輸出表示規程」の普及推進
 - ① 「国産材製品輸出口ゴマーク適正利用審査委員会」の開催
 - ② 国内における「国産材製品輸出表示制度普及説明会」の開催
 - ③ 海外における「国産材製品輸出表示制度説明会」の開催

（2）業界関係者共通の輸出に関する課題解決に向けた実証等

- ・ 製材等輸出口製品用ラッピング課題の解決に向けた実証的取組
 - ① 「製材等製品輸出ラッピング課題解決検討委員会」の開催
 - ② 製材等製品輸出ラッピングの開発と試作
 - ③ 「輸出製品向けラッピング技法勉強会」の開催

（3）海外等における販路開拓活動

- ・ 輸出ターゲット国・地域の展示会へのジャパンパビリオンの出展・販促（中国、韓国、台湾）

5. 木材製品輸出拡大実行戦略推進事業（令和5年度林野庁当初予算）

（1）木材製品輸出産地育成

- ・ 木材製品輸出産地の募集・選定
- ・ 選定した木材輸出産地への支援
- ・ セミナー・展示会等の開催
- ・ 成果報告会の開催

（2）企業連携型木材製品輸出促進

- ・ 企業連携によるモデル的な木材製品輸出の取組の募集・選定
- ・ 選定したモデル・実証的な取組への支援
- ・ 成果報告会の開催

（3）日本式木造建築物等技術者育成

- ・ 海外における木造軸組構法技術講習会の開催（中国、韓国、台湾、米国）
- ・ 国内における木造技術研修会の開催

令和5年度 収支予算書

自令和5年4月1日～至令和6年3月31日

単位:円

科 目	予算額	備 考
収入の部		
1 会費収入	6,045,000	
(1) 個人会員	45,000	個人会員15名 × @3,000
(2) 法人会員	6,000,000	法人会員100 × @60,000
2 事業収入	716,830,000	
(1) 品目団体輸出力強化緊急支援事業(令和4年度補正(前期募集分))	226,570,000	令和4年度(補正(前期分))農林水産省補助事業収入
(2) 輸出先国の規格・基準等に対応した性能検証等支援事業(令和4年度補正)	82,000,000	令和4年度(補正)林野庁補助事業収入
(3) 品目団体輸出力強化緊急支援事業(令和4年度補正(後期募集分))	85,010,000	令和4年度(補正(後期分))農林水産省補助事業収入
(4) 品目団体輸出力強化支援事業(当初)	274,730,000	令和5年度農林水産省補助事業収入
(5) 木材製品輸出拡大実行戦略推進事業(当初)	48,520,000	令和5年度林野庁補助事業収入
3 雑収入	50,000	出版物販売等
当期収入合計	722,925,000	
前期繰越額	11,288,582	
収入合計	734,213,582	

単位:円

科目	予算額	備考
支出の部		
1 事業費	716,830,000	
(1) 品目団体輸出力強化緊急支援事業(令和4年度補正(前期募集分))	226,570,000	令和4年度(補正(前期分))農林水産省補助事業費
(2) 輸出先国の規格・基準等に対応した性能検証等支援事業(令和4年度補正)	82,000,000	令和4年度(補正)林野庁補助事業費
(3) 品目団体輸出力強化緊急支援事業(令和4年度補正(後期募集分))	85,010,000	令和4年度(補正(後期分))農林水産省補助事業費
(4) 品目団体輸出力強化支援事業(当初)	274,730,000	令和5年度農林水産省補助事業費

	(5) 木材製品輸出拡大実行戦略 推進事業(当初)	48,520,000	令和5年度林野庁補助事業費
	2 事務費	6,095,000	
	(1) 総会費	145,000	
	(2) セミナー等会議費	500,000	
	(3) 諸経費	5,350,000	事務経費等
	(4) 公租公課	100,000	法人都民税等
当期支出合計		722,925,000	
当期収支差額		0	
次期繰越額		11,288,582	

報告事項2

会員の加入状況報告

1 令和5年5月30日現在の会員の状況

区分	団体・企業	自治体	その他	合計
会員数	88	49	9	146
(割合)	(60%)	(34%)	(6%)	(100%)
(参考)	109	49	10	168
4年6月1日	(65%)	(29%)	(6%)	(100%)